

令和2年度使用教科用図書（中学校（「特別の教科 道徳」を除く。））
総合所見

令和元年8月21日（水）

呉市教科用図書（中学校（「特別の教科 道徳」を除く。））選定委員会

種目名〔国語〕 総合的な所見一覧

	基礎	学図	三書堂	教出	光村
観点1 基礎・基本の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・単元・教材の目標だけでなく、教材末にも「目標」とあわせて言語活動の目標が示されている。 ・言語の学習では、本編の教材末「広がる言葉」だけでなく、資料編に「言葉を広げよう」が設定され、テーマ別に用例とともに語彙を豊かにする語が豊富に掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の目標は、冒頭右下に示されていないが、「目標」と明記されていない。 ・伝統的な言語文化に関する単元の学習の手引きに、表現課題が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な言語文化に関する単元の学習の手引きに、表現課題が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な言語文化に関する単元の学習の手引きに、表現課題が具体的に示されているものは少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元・教材の目標だけでなく、教材末にも目標に対して自分の言葉でまとめられる場が示されている。 ・言語の学習では、資料編に「感想を表す言葉」などが設定され、テーマ別に語彙を豊かにする語が豊富に掲載されている。
観点2 主体的に学習に取り組み工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を悪識した読解を進めるためのヒント等を示し、課題解決的な学習のための工夫があり、他の教材・教科や生活に生かせるようになっている。 ・学習の流れに沿って、学習の支援や完成例等が丁寧に示されているため、学習の見通しが持ちやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れは示されているが、学習活動の支援が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まともに必要な手がかりとなりとなる言葉や読みの方略が示され、課題解決的な学習のための工夫があり、他の教材・教科や生活に生かせるようになっている。 ・学習の流れに沿って、学習の支援等が丁寧に示されているため、学習の見通しが持ちやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れは示されているが、学習活動の支援が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決的な学習の見通しを持たせるために、学習の流れに沿って学習支援が示されているが、文字で示されていることが多い。
観点3 内容の構成・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・教材数は、指導時数に沿ってバランス良く配置されている。各領域の教材をつなげて学習ができるよう、学習のポイントを示す「学びの扉」が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材数は、「話すこと」「書くこと」の領域が少ない。 ・読み広げる教材が選択教材に示されているが、伝統的な言語文化のものは少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材数は、「読むこと」の領域が少ない。 ・古典に関する発展的な学習は示されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材数は、指導時数に沿ってバランス良く配置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材数は、指導時数に沿ってバランス良く配置されている。「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材には、課題意識を持って学習に臨めるよう、教材の前に「練習」が設定されている。
観点4 内容の表現・表記	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の手引きに、図表の効果や取り入れ方を考えさせる課題が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の手引きに、本文と図表との関連を考えさせる教材はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の手引きに、図表の効果や取り入れ方を考えさせる課題が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の手引きに、図表の効果や取り入れ方を考えさせる課題が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の手引きに、図表の効果や考えさせる課題が示されているが、取り入れ方の課題は示されていない。
観点5 言語活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・読書カード、ビブリオバトルなど読書に関わる言語活動が全学年に示されており、学校図書館の利活用・情報活用の選択肢の幅が広がる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の利活用については、1年生のみに示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポップ、ビブリオバトルなど読書に関わる言語活動が全学年に示されており、学校図書館の利活用・情報活用の選択肢の幅が広がる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポップ、ビブリオバトルなどの読書に関わる言語活動が全学年に示されており、学校図書館の利活用・情報活用の選択肢の幅が広がる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポップ、読書案内など読書に関わる言語活動が全学年に示されており、学校図書館の利活用・情報活用の選択肢の幅が広がる。

種目名〔書写〕 総合的な所見一覧

	東書	学四	三省堂	教出	光村
観点1 基礎・基本の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・目標やポイントを確認しながら書くことができる工夫がある。 ・よくない持ち方の方のイラスト・写真が示され、自分の姿勢を確認する6つのチェック欄がある。 ・全学年で伝統文化に関する内容が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毛筆の手本と別のページに目標が示されている。 ・全学年で伝統文化に関する内容が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1, 2年生で伝統文化に関する内容が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を確認しながら書くことができる工夫がある。 ・全学年で伝統文化に関する内容が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1, 2年生で伝統文化に関する内容が示されている。
観点2 主体的に学習に取り 組む工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・「多様な文字」のコーナーがあり、身近にあるさまざまな文字について考えさせる工夫がある。 ・「振り返ろう」で、振り返りの観点とともにチェック欄が示され、生徒に自己評価させるための工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「振り返って・・・」で、振り返りの観点は複数示されているが、2, 3年生には、「振り返って・・・」は示されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「身のまわりの文字の工夫をみつけよう」のコーナーがあり、身近にあるさまざまな文字に関心をもち、効果的に書くことを意識させる工夫がある。 ・「振り返ろう」で、振り返りの観点が示されているが、3年生に示されているのは1教材である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に書こう」のコーナーがあり、さまざまな場面に応じた書き方を考え、それを生かして書くという学習が設定されている。 ・「振り返ろう」で、チェック欄が示され、自己評価を記入するようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「文字を効果的に使うために」のコーナーがあり、目的に応じて効果的に文字を使う必要性についての学習があり、生徒の興味・関心を高める工夫がある。 ・「学習を振り返る」で、チェック欄が示され、自己評価を記入するようになっている。
観点3 内容の構成・配 列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・毛筆教材として、大筆、小筆を使った手本が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毛筆教材として、大筆、小筆を使った手本が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毛筆教材として、大筆、小筆を使った手本が掲載されている。 ・唐の書家、平安時代の日本の書家の作品が扱われているが、書く学習は示されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毛筆教材として、大筆、小筆を使った手本が掲載されているが、小筆を使う手本は2年生からである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毛筆教材として、大筆、小筆を使った手本が掲載されている。 ・発展的な学習は、3年生に1ページのみ示されている。
観点4 内容の表現・表記	<ul style="list-style-type: none"> ・楷書・行書ともに、点画の部分的な写真やイラストを使って、書くポイントが示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楷書・行書ともに、点画の部分的な写真が示されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行書では、点画の部分的な写真を使って、書くポイントが示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楷書・行書ともに、点画の部分的な写真を使って、書くポイントが示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楷書・行書ともに、点画の部分的な写真が示されていない。
観点5 言語活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や学習活動、日常生活と結び付けやすい場面設定のもと、学習の流れに沿って、依頼状やフアクシミリ文書等の言語活動例が豊富に示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や場面に合った言語活動例と書体の選び方が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本の紹介や卒業冊子作成等の言語活動例が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や学習場面を取り上げ、言語活動例が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動例とともに活用ヒントが示されている。

種目名〔社会（地理的分野）〕 総合的な所見一覧

	児童	教員	帝国	日文
観点1 基礎・基本の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・環境の保全及び自然災害の防止について、5つの地域区分で取り扱われており、それぞれの地域の特性に応じた事象を学ぶことができる。 ・特設のコナーやコンピュータ等を活用すると特に効果的な学習へのマークの設定があり、基礎となる知識・技能を身に付けさせる工夫が充実している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境の保全及び自然災害の防止について、3つの地域区分で取り扱われており、それぞれの地域の特性に応じた事象を学ぶことができる。 ・特設のコナーの設定があり、基礎となる知識・技能を身に付けさせる工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境の保全及び自然災害の防止について、6つの地域区分で取り扱われており、それぞれの地域の特性に応じた事象を様々な事例を通して学ぶことができる。 ・特設のコナーの設定があり、基礎となる知識・技能を身に付けさせる工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境の保全及び自然災害の防止について、7つの地域区分で取り扱われており、それぞれの地域の特性に応じた事象を様々な事例を通して学ぶことができる。 ・特設のコナーの設定があり、基礎となる知識・技能を身に付けさせる工夫がある。
観点2 主体的に学習に取り組む工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・大単元の導入において、地図や写真、キャラクターによる問いかけ、学習内容の説明等があり、興味関心を引きやすい。また、広島県に関する資料が豊富である。 ・調査テーマを決めるための準備を大切にしながら手順や方法をめぐるため、見通しをもつて問題解決的な学習を進めることができるよう工夫されている。 ・作業的・体験的な学習の事例数がとても豊富である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大単元の導入において、写真や絵、キャラクターによる問いかけがあるものもある。 ・調査テーマを決めるための準備を大切にしながら手順や方法をめぐるため、見通しをもつて問題解決的な学習を進めることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大単元の導入において、世界の州と日本の地方区分図や学習のねらいが掲載されており、興味関心を引きやすい。 ・見通しをもつて問題解決的な学習を進めることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大単元の導入において、写真、地図、キャラクターによる説明や問いかけ、表への書きこみ、「ナビ」のコナーがあり、興味関心を引きやすい。また、広島県に関する資料が豊富である。 ・見通しをもつて問題解決的な学習を進めることができるよう工夫されている。 ・作業的・体験的な学習の事例数がとても豊富である。
観点3 内容の構成・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・大単元の構成は適切であり、ページ数もバランスがとれている。統計資料や用語解説があるなど資料も充実している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大単元の構成は適切であり、ページ数もバランスがとれている。統計資料や用語解説があるなど資料も充実している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大単元の構成は適切であり、ページ数もバランスがとれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大単元の構成は適切であり、ページ数もバランスがとれている。統計資料や用語解説があるなど資料も充実している。
観点4 内容の表現・表記	<ul style="list-style-type: none"> ・写真、地図等の資料が適切にバランスよく掲載されている。 ・キャラクターが問いを投げかけたり、まとめや説明のコナーが設けられたりしており、本文以外に記述が工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真、地図等の資料が適切にバランスよく掲載されている。 ・キャラクターが問いを投げかけたり、まとめや説明のコナーが設けられたりしており、本文以外に記述が工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真、地図等の資料が適切にバランスよく掲載されている。 ・キャラクターが問いを投げかけたり、まとめや説明のコナーが設けられたりしており、本文以外に記述が工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真、地図等の資料が適切にバランスよく掲載されている。 ・キャラクターが問いを投げかけたり、まとめや説明のコナーが設けられたりしており、本文以外に記述が工夫されている。
観点5 言語活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ方の種類、具体例が豊富に示されており、言語活動の充実に向けた多様な学習活動の参考にしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ方の種類、具体例が豊富に示されており、言語活動の充実に向けた多様な学習活動の参考にしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ方の種類、具体例が豊富に示されており、言語活動の充実に向けた多様な学習活動の参考にしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ方の種類、具体例が豊富に示されており、言語活動の充実に向けた多様な学習活動の参考にしやすい。

	東洋	教出	清水	帝国	日文	自由社	青陽社	学ひ舎
観点1 基礎・基本の 定着	・文化遺産について地図と写真を取り上げ紹介している。 ・古代日本人の信仰やものの考え方についての理解が深まるコラムを掲載している。 ・文化交流や国際関係の理解を深めるために、コラムが少ない時代がある。	・文化遺産について地図と写真を取り上げ紹介している。 ・古代日本人の信仰やものの考え方についての理解が深まるコラムを掲載している。 ・文化交流や国際関係の理解を深めるために、コラムが少ない時代がある。	・文化遺産について地図と写真を取り上げ紹介している。 ・古代日本人の信仰やものの考え方についての理解が深まるコラムを掲載している。 ・文化交流や国際関係の理解を深めるために、コラムが少ない時代がある。	・文化遺産について地図と写真を取り上げ紹介している。 ・古代日本人の信仰やものの考え方についての理解が深まるコラムを掲載している。 ・文化交流や国際関係の理解を深めるために、コラムが少ない時代がある。	・文化遺産について地図と写真を取り上げ紹介している。 ・日本と世界の歴史を結び付けて考えるためのコーナーが設けられている。	・文化遺産について地図と写真を取り上げ紹介している。 ・古代日本人の信仰やものの考え方についての理解を深めるためにコラムを掲載している。 ・日本と世界の歴史を結び付けて考えるためのコーナーが設けられている。	・文化遺産について地図と写真を取り上げ紹介している。 ・日本と世界の歴史を結び付けて考えるためのコーナーが設けられている。	・文化遺産について日本地図に示されているが写真等は少ない。 ・古代日本人の信仰やものの考え方についての理解が深まるコラムを掲載している。
観点2 主体的に学習 に取り組む 工夫	・歴史の大きな流れを見通すための工夫が充実している。 ・作業的・体験的な学習の事例数も豊富で、主体的な学習につながる活動が設けられている。	・歴史の大きな流れを見通すための工夫が充実している。 ・作業的・体験的な学習の事例数も豊富で、主体的な学習につながる活動が設けられている。	・大単元の導入における特別なページがない。 ・歴史の大きな流れを見通すための工夫が充実している。 ・作業的・体験的な学習の事例数も豊富で、主体的な学習につながる活動が設けられている。	・歴史の大きな流れを見通すための工夫が充実している。 ・作業的・体験的な学習の事例数も豊富で、主体的な学習につながる活動が設けられている。	・歴史の大きな流れを見通すための工夫が充実している。 ・作業的・体験的な学習の事例数も豊富で、主体的な学習につながる活動が設けられている。	・歴史の大きな流れを見通すための工夫が充実している。 ・作業的・体験的な学習の事例数も豊富で、主体的な学習につながる活動が設けられている。	・歴史の大きな流れを見通すための工夫が充実している。 ・作業的・体験的な学習の事例数も豊富で、主体的な学習につながる活動が設けられている。	・作業的・体験的な学習の事例数が少なめである。 ・作業的・体験的な学習の事例数も豊富で、主体的な学習につながる活動が設けられている。
観点3 内容の構成・配列・分量	・各時代区分の教材数のバランスはよいが具体例がやや少ない。	・各時代区分の教材数のバランスはよい。	・各時代区分の教材数のバランスはよい。	・各時代区分の教材数のバランスはよい。	・各時代区分の教材数のバランスはよい。	・各時代区分の教材数のバランスがよく、具体例も多いため生徒の実態にあわせ選択させやすい。	・各時代区分の教材数のバランスがよく、具体例も多いため生徒の実態にあわせ選択させやすい。	・各時代区分の教材数のバランスはよいが具体例がやや少ない。
観点4 内容の表現・表記	・学習を進めやすくするために問いが示され、学習課題を捉えることができたか確認できるようにまとめている。	・学習を進めやすくするために問いが示され、学習課題を捉えることができたか確認できるようにまとめている。	・学習を進めやすくするために問いが示され、学習課題を捉えることができたか確認できるようにまとめている。	・学習を進めやすくするために問いが示され、学習課題を捉えることができたか確認できるようにまとめている。	・学習を進めやすくするために問いが示され、学習課題を捉えることができたか確認できるようにまとめている。	・学習を進めやすくするために問いが示され、学習課題を捉えることができたか確認できるようにまとめている。	・学習を進めやすくするために問いが示され、学習課題を捉えることができたか確認できるようにまとめている。	・第1章には、学習を進めやすくするために問いが示されているがまとめる記述はない。
観点5 言語活動の充実	・多様なまともな例ととも示されており、生徒が目的に応じた表現方法を選択する幅が広がり、参考にしやすい。	・多様なまともな例ととも示されており、生徒が目的に応じた表現方法を選択する幅が広がり、参考にしやすい。	・多様なまともな例ととも示されており、生徒が目的に応じた表現方法を選択する幅が広がり、参考にしやすい。	・多様なまともな例ととも示されており、生徒が目的に応じた表現方法を選択する幅が広がり、参考にしやすい。	・多様なまともな例ととも示されており、生徒が目的に応じた表現方法を選択する幅が広がり、参考にしやすい。	・多様なまともな例ととも示されており、生徒が目的に応じた表現方法を選択する幅が広がり、参考にしやすい。	・多様なまともな例ととも示されており、生徒が目的に応じた表現方法を選択する幅が広がり、参考にしやすい。	・多様なまともな例ととも示されており、生徒が目的に応じた表現方法を選択する幅が広がり、参考にしやすい。

種目名〔社会（公民的分野）〕 総合的な所見一覧

	東洋	教出	清水	帝國	日文	自由社	育隣社	
観点1 基礎・基本 の定着	<p>・「対立と合意」「効率と公正」への理解をうながすためのページがあり、側注にマークを加えて説明する工夫がある。</p> <p>・文化交流、国際貢献とともに理解が深まるコラム等が豊富に掲載されている。</p>	<p>・「対立と合意」「効率と公正」への理解をうながすためのページがある。</p> <p>・国旗、国歌に係る国際的な儀礼について説明されている。</p> <p>・文化交流、国際貢献とともに理解が深まるコラム等が豊富に掲載されている。</p>	<p>・「対立と合意」「効率と公正」への理解をうながすためのページがあり、大項目終わりの側注にまとめの問題が設けられている。</p> <p>・国旗、国歌に係る国際的な儀礼について説明されている。</p> <p>・文化交流、国際貢献とともに理解が深まるコラム等が豊富に掲載されている。</p>	<p>・「対立と合意」「効率と公正」への理解をうながすためのページがあり、側注で説明がある。</p> <p>・国旗、国歌に係る国際的な儀礼が豊富に紹介されている。</p> <p>・文化交流、国際貢献とともに理解が深まるコラム等が豊富に掲載されている。</p>	<p>・「対立と合意」「効率と公正」への理解をうながすためのページがあり、側注で説明がある。</p> <p>・国旗、国歌に係る国際的な儀礼について説明されている。</p> <p>・文化交流、国際貢献とともに理解が深まるコラム等が豊富に掲載されているが、具体例が少なめである。</p>	<p>・「対立と合意」「効率と公正」への理解をうながすためのページがあり、側注で説明がある。</p> <p>・国旗、国歌に係る国際的な儀礼が豊富に紹介されている。</p> <p>・国際貢献に係る理解が深まるコラム等が掲載されているが、具体例が少ない。</p>	<p>・「対立と合意」「効率と公正」への理解をうながすためのページがあり、側注で説明がある。</p> <p>・国旗、国歌に係る国際的な儀礼が豊富に紹介されている。</p> <p>・文化交流、国際貢献とともに理解が深まるコラム等が豊富に掲載されている。</p>	
観点2 主体的に学 習に取り組 む工夫	<p>・大項目の導入ページには、写真等の資料とともに、キヤクターの問いの言葉が掲載されており、学習を深めるための工夫がある。</p> <p>・課題探究の手順が具体例とともに示されている。</p> <p>・作業的・体験的な学習の事例数も豊富にあり主体的な学習につながる効果的な学習展開が示されている。</p>	<p>・課題探究の手順が具体例とともに示されている。</p>	<p>・作業的・体験的な学習の事例数も豊富に掲載されている。</p>	<p>・課題探究の手順が具体例とともに示されている。</p>	<p>・大項目の導入ページには写真や項目の概要とともに、学習を深めるための説明や問いが掲載されている。</p> <p>・課題探究の手順が具体例とともに示されている。</p>	<p>・課題探究の手順が具体例とともに示されている。</p>	<p>・大項目の導入ページには、写真等の資料とともに、キヤクターの問いの言葉が掲載されており、学習を深めるための工夫がある。</p> <p>・課題探究の手順が具体例とともに示されている。</p> <p>・作業的・体験的な学習の事例数も豊富にあり主体的な学習につながる効果的な学習展開が示されている。</p>	
観点3 内容の構 成・配列・ 分量	<p>・どの大項目にも補足的・発展的な教材が十分掲載されている。</p>	<p>・どの大項目にも補足的・発展的な教材が掲載されている。</p>	<p>・どの大項目にも補足的・発展的な教材が十分掲載されている。</p>	<p>・どの大項目にも補足的・発展的な教材が掲載されている。</p>	<p>・どの大項目にも、補足的・発展的な教材が十分掲載されており、バランスよく配置されている。</p>	<p>・どの大項目にも、補足的・発展的な教材がバランスよく配置されている。</p>	<p>・どの大項目にも、補足的・発展的な教材が十分掲載されており、バランスよく配置されている。</p>	<p>・どの大項目にも、補足的・発展的な教材が十分掲載されており、バランスよく配置されている。</p>
観点4 内容の表 現・表記	<p>・学習のねらいに沿って、イラストが配置されている。</p>	<p>・学習のねらいに沿って、イラストが配置されている。</p>	<p>・学習のねらいに沿って、イラストが配置されているが、やや少ない。</p>	<p>・学習のねらいに沿って、イラストが配置されている。</p>	<p>・学習のねらいに沿って、イラストが配置されている。</p>	<p>・学習のねらいに沿って、イラストが配置されているが、やや少ない。</p>	<p>・学習のねらいに沿って、イラストが配置されている。</p>	<p>・学習のねらいに沿って、イラストが配置されている。</p>
観点5 言語活動の 充実	<p>・まとめ方の種類、具体例が豊富に示されており、言語活動の充実に向けた多様な学習活動の参考にしやす</p>	<p>・まとめ方の種類、具体例が豊富に示されており、言語活動の充実に向けた多様な学習活動の参考にしやす</p>	<p>・まとめ方の種類、具体例が豊富に示されており、言語活動の充実に向けた多様な学習活動の参考にしやす</p>	<p>・まとめ方の種類、具体例が豊富に示されており、言語活動の充実に向けた多様な学習活動の参考にしやす</p>	<p>・まとめ方の種類、具体例が豊富に示されており、言語活動の充実に向けた多様な学習活動の参考にしやす</p>	<p>・まとめ方の種類、具体例が豊富に示されており、言語活動の充実に向けた多様な学習活動の参考にしやす</p>	<p>・まとめ方の種類、具体例が豊富に示されており、言語活動の充実に向けた多様な学習活動の参考にしやす</p>	<p>・まとめ方の種類、具体例が豊富に示されており、言語活動の充実に向けた多様な学習活動の参考にしやす</p>

種目名〔地図〕

総合的な所見一覧

東		西	
観点1 基礎・基本の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地図の見方について、巻頭に、「この地図帳の活用方法」があり、資料の見方が説明されている。 ・ 見開き4ページで設けられた「世界の環境①②」には、資料や写真が充実しており、世界の環境に係る学習に取り組みやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地図の見方について、巻頭に、「この地図帳の使い方」があり、資料の見方や地図帳の構成、地域の特徴を捉えるポイントが分かりやすく説明されている。 ・ 見開き2ページで「世界の環境問題」が設けられており、環境破壊の状況や環境問題へ取組の様子を示した写真が掲載されている。 	
観点2 主体的に学習に取り 組む工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先生や生徒のキャラクターによる吹き出しで、地図を読み取る観点が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「地図を見る目」のコーナーに地図を見るとき観点、「やってみよう」のコーナーに地図の活用方法が示されており、生徒の興味・関心を高める工夫が充実している。 	
観点3 内容の構成・配 列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 構成、配列については、最初に使い方の説明があり、世界の諸地域、日本の諸地域、日本の資料図、統計資料、索引の順番で配列されている。分量も適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 構成、配列については、最初に使い方の説明があり、世界の諸地域、世界の諸地域、日本の諸地域、日本の資料図、統計資料、索引の順番で配列されている。分量も適切である。 	
観点4 内容の表現・表記	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地図の種類、縮尺とともに適切に掲載されており、先生や生徒のキャラクターのふきだしで、資料の活用を促す呼びかけがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地図の種類、縮尺とともに適切に掲載されており、「やってみよう」というコーナーで、資料の活用方法を促す呼びかけがある。 	
観点5 言語活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「この地図帳の活用方法」で、地図や資料の活用の仕方が呼びかけの形で示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「この地図帳の使い方」で、地図や資料の活用だけでなく、地図を活用した調べ方の具体が示されており、活用しやすい。 	

種目名〔数学〕 総合的な所見一覧

	真	大日本	学	教出	啓林館	教研	日文	
観点1 基礎・基本の 定着	<ul style="list-style-type: none"> ・単元等の最初に既習内容をまとめた記述がされていない。 ・1・2年生の巻末には、算数や前年に学習した内容をまとめたもの、3年生の巻末には、3年間の学習した内容のまとめが記載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元等の最初に既習内容をまとめた記述はされていない。 ・1年生の巻末には、算数の復習、2・3年生の裏表紙には、その学年で学習した図形のまとめが記載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各領域の最初に既習内容をまとめた記述があり、各領域を学習する前に必要な内容を確認することができる。 ・年間の学習を一覧の形でまとめたものは示されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の最初に既習内容をまとめた記述があり、各単元を学習する前に必要な内容を確認することができる。 ・1年生の裏表紙には、算数3年生の裏表紙には、その学年で学習した図形のまとめが記載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・別冊の各章に単元の学習をまとめた記述があり、各単元を学習する前に必要な内容を確認することができる。 ・各学年の裏表紙には、その学年で学習内容のまとめが記載されているが、算数の学習内容をまとめたような記述は示されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭などにその学年の学習に必要な既習内容の記述があり、各学年を学習する前に必要な内容を確認することができる。 ・年間の学習を一覧の形でまとめたものは示されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の最初に既習内容をまとめた記述があり、各単元を学習する前に必要な内容を確認することができる。 ・1年生の巻末には、算数の学習をまとめたもの、2・3年生の裏表紙には、その学年で学習した図形のまとめが記載されている。 	
観点2 主体的に学習に取り組み、工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活等における事象に係わる題材が扱われており、生徒が興味・関心をもって学習に取り組みやすい。 ・ほとんどの単元に課題解決的な学習内容が設定してあるが、数がやや少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活等における事象に係わる題材が扱われており、生徒が興味・関心をもって学習に取り組みやすい。 ・すべての単元に課題解決的な学習内容が設定してあり、設定数も多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活等における事象に係わる題材が扱われており、生徒が興味・関心をもって学習に取り組みやすい。 ・すべての単元に課題解決的な学習内容が設定してあり、設定数も多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活等における事象に係わる題材が扱われており、生徒が興味・関心をもって学習に取り組みやすい。 ・ほとんどの単元に課題解決的な学習内容が設定してあり、設定数も適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活等における事象に係わる題材が扱われており、生徒が興味・関心をもって学習に取り組みやすい。 ・ほとんどの単元に課題解決的な学習内容が設定してあり、設定数も適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活等における事象に係わる題材が扱われており、生徒が興味・関心をもって学習に取り組みやすい。 ・ほとんどの単元に課題解決的な学習内容が設定してあるが、数がやや少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活等における事象に係わる題材が扱われており、生徒が興味・関心をもって学習に取り組みやすい。 ・ほとんどの単元に課題解決的な学習内容が設定してあるが、数がやや少ない。 	
観点3 内容の構成・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を解くための手順やヒントの設定数が適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を解くための手順やヒントの設定数がやや少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を解くための手順やヒントの設定数が多く、次節につながるような問いが各節の終わりに設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を解くための手順やヒントの設定数が適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を解くための手順やヒントの設定数が適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を解くための手順やヒントの設定数が適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を解くための手順やヒントの設定数が適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題を解くための手順やヒントの設定数が適切である。
観点4 内容の表現・表記	<ul style="list-style-type: none"> ・問題等の理解を補助するイラストや写真が適切に配置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題等の理解を補助するイラストや写真が適切に配置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題等の理解を補助するイラストや写真が適切に配置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題等の理解を補助するイラストや写真が適切に配置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題等の理解を補助するイラストや写真が適切に配置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題等の理解を補助するイラストや写真が適切に配置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題等の理解を補助するイラストや写真が適切に配置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題等の理解を補助するイラストや写真が適切に配置されている。
観点5 言語活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・説明したり、話し合ったりする問題等の設定数がやや少ない。 ・ノート指導やレポート作成のための注意点が具体的に示されており、自分の考えをまとめさせるために活用しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明したり、話し合ったりする問題等の設定数が適切である。 ・ノート指導やレポート作成のための注意点等が具体的に示されており、自分の考えをまとめさせるために活用しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明したり、話し合ったりする問題数が多く、各学年でバランス良く設定されている。 ・ノート指導やレポート作成のための注意点等が具体的に示されており、自分の考えをまとめさせるために活用しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明したり、話し合ったりする問題等の設定数が適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明したり、話し合ったりする問題等の設定数が適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明したり、話し合ったりする問題等の設定数がやや少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明したり、話し合ったりする問題等の設定数がやや少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明したり、話し合ったりする問題数が多く、各学年でバランス良く設定されている。 ・ノート指導やレポート作成のための注意点等が具体的に示されており、自分の考えをまとめさせるために活用しやすい。

種目名〔理科〕 総合的な所見一覧

	基礎	大日本	学図	教出	啓林館
観点1 基礎・基本の 定着	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標は、呼びかけ文で提示されている。各章の初めの「before & after」のコーナーに、章で最も重要な問いかけがあり、生徒が、章末にその問いかけを振り返るように設定されている。 単元末のまとめでは、重要語句が示されている。 観察、実験の手順に加え、目的が具体的に示されており、生徒は目的を明確にして調べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標は、呼びかけ文や問いかけ文で提示されている。 単元末のまとめでは、重要語句が中央に集められ、生徒が振り返りやすい。 観察、実験の手順が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標は、呼びかけ文や問いかけ文で提示されている。 単元末のまとめでは、重要語句が「基本的な用語」コーナーに示され、生徒が振り返りやすい。 観察、実験の手順が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標は、呼びかけ文で提示されている。 単元末のまとめでは、重要語句が示されている。 観察、実験の手順が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標は、呼びかけ文や問いかけ文で提示されている。 単元末のまとめでは、重要語句を付属の青いシートの隠すことができ、生徒が振り返りやすい。 観察、実験の手順に加え、目的が具体的に示されており、生徒は目的を明確にして調べることができる。
観点2 主体的に学 習に取り組 む工夫	<ul style="list-style-type: none"> 学習の進め方では、8段階の過程がタイトル・文章で示されている。探究的な学習過程のうち、結果と考察の過程を分けて示すことができる。また、仮説を立てることで、「事実」と「考えたこと」を分けて示すことができる。 ものづくりについては、単元末と付録に示されている。既習事項に関連する内容が問いの形で示され、主体的に取り組むことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の進め方では、6段階の過程がタイトル・文章・具体例で示されている。 ものづくりについては、巻末に示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の進め方では、6段階の過程がタイトル・文章・具体例で示されている。探究的な学習過程のうち、結果と考察の過程を分けて示すことで、「事実」と「考えたこと」を分けて示すことができる。 ものづくりについては、巻末と付録に示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の進め方では、6段階の過程がタイトル・文章・具体例で示されている。探究的な学習過程のうち、結果と考察の過程を分けて示すことで、「事実」と「考えたこと」を分けて示すことができる。 また、仮説を立てることで、目的意識をもつて取り組むことができる。 ものづくりについては、巻末に示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の進め方では、8段階の過程がタイトル・文章・具体例で示されている。探究的な学習過程のうち、結果と考察の過程を分けて示すことで、「事実」と「考えたこと」を分けて示すことができる。 また、仮説を立てることで、目的意識をもつて取り組むことができる。 ものづくりについては、巻末に示されている。
観点3 内容の構 成・配列・分 量	<ul style="list-style-type: none"> 補充的な学習については、重要事項にチェック欄が設けられ、生徒が振り返ることができる工夫がされている。 発展的な学習については、マークで示されている。また、解説、考え方の紹介、本の紹介等が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 補充的な学習については、各章末で重要事項が示されている。 発展的な学習については、マークで示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 補充的な学習については、重要事項にチェック欄が設けられ、生徒が振り返ることができる工夫がされている。 発展的な学習については、マークで示されている。また、高校の基礎の内容が紹介されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 補充的な学習については、重要事項にチェック欄が設けられ、生徒が振り返ることができる工夫がされている。 発展的な学習については、マークで示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 補充的な学習については、重要事項にチェック欄が設けられ、生徒が振り返ることができる工夫がされている。 発展的な学習については、マークで示されている。
観点4 内容の表 現・表記	<ul style="list-style-type: none"> 本文との関連付けがなされた写真やイラスト、図が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文との関連付けがなされた写真やイラスト、図が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文との関連付けがなされた写真やイラスト、図が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文との関連付けがなされた写真やイラスト、図が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文との関連付けがなされた写真やイラスト、図が掲載されている。
観点5 言語活動の 充実	<ul style="list-style-type: none"> 結果の整理の仕方については、目的にそった結果の視点が示されている。 考察文の記述は、結果にもとづいて考えられることが示されている。また、補助的な視点が必要な考察の場合は、考察の視点が具体的に示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 結果の整理の仕方については、目的にそった結果の視点が示されている。各実験全てに「実験結果の例」があり、写真、表、グラフなどで記録した例が示され、結果のまとめ方について生徒が参考にしやすい工夫がされている。 考察文の記述は、結果にもとづいて考えられることが示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 結果の整理の仕方については、目的にそった結果の視点が示されている。各実験全てに「結果例」があり、生徒が作成したレポートのように記載され、結果のまとめ方について生徒が参考にしやすい工夫がされている。 考察文の記述は、結果にもとづいて考えられることが示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 結果の整理の仕方については、目的にそった結果の視点が示されている。 考察文の記述は、結果にもとづいて考えられることが示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 結果の整理の仕方については、目的にそった結果の視点が示されている。生徒が作成したレポートのように記載され、結果のまとめ方について生徒が参考にしやすい工夫がされている。 考察文の記述は、結果にもとづいて考えられることが示されている。

種目名〔音楽（一般）〕 総合的な所見一覧

教出		教育	
観点 1 基礎・基本の 定着	<ul style="list-style-type: none"> 伝統的な歌唱の扱いについて、鑑賞の領域と組み合わせ、拍節的な民謡と非拍節的な民謡を聴き比べ、その特徴を感じ取らせたり、謡（うたい）の部分と他の楽器等の全体的な動きが分かる譜例等を使って歌唱したりする工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 伝統的な歌唱の扱いについて、鑑賞の領域と組み合わせ、系統性を明確にした扱いになっている。 言葉、絵譜などの視覚的な支援があり、独特の発声や姿勢等についての注意事項の掲載があり、分かりやすい。 	
観点 2 主体的に学 習に取り組 む工夫	<ul style="list-style-type: none"> 全学年共通で、多様な音楽活動への興味・関心を高めるための資料が豊富に掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な音楽活動への興味・関心を高めるための資料が掲載されている。 	
観点 3 内容の構 成・配列・分 量	<ul style="list-style-type: none"> 目次の中で学習内容につながりがあるものを、青、ピンク、緑でまとめ、歌唱、鑑賞、創作の順に配列されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年に、学習内容と教材の関連が見通せる「音楽学習 MAP」が示されており、題材と題材のつながりも関連付けてあることで、それぞれの教材で何を学習するのか生徒が意識しやすい。 	
観点 4 内容の表 現・表記	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞教材の楽譜について、着目したい動機や主題に、色の付いた帯を付けたり、全てではないが、歌っている登場人物のマークを付けたりしたものもある。 	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞教材の楽譜について、特徴的な旋律や主題等の音符の色を変えたり、楽譜上に色の付いた帯を付けたりして、生徒に着目させるための工夫がある。 	
観点 5 言語活動の 充実	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートは、自分が考えたよさやおもしろさを紹介文として記述できるもの等がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートは、聴き取ったことと、音楽が変化した理由について記述できるものや、プレゼンテーションするために記述できるもの等がある。 	

種目名〔音楽（器楽合奏）〕 総合的な所見一覧

教出		教入	
観点1 基礎・基本の 定着	<ul style="list-style-type: none"> 目次には、楽器ごとに名称が示されている。 アルトリコーダー等の導入については、楽器の演奏写真、楽器の各部の名称、姿勢とかまえ方を違う角度から撮影した写真等が絵や説明とともに示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目次には、楽器ごとに名称が大きく示され、「～しましょう。」と題材ごとの目標が具体的に示されており分かりやすい。 アルトリコーダー等の導入については、専門家の演奏写真と「楽器の音色を聴いてみよう」や「楽器を知ろう」のコーナーがあり、構造や種類、姿勢と構え方、基本的奏法等について写真や絵、説明が掲載されており、分かりやすい。 	
観点2 主体的に学 習に取り組 む工夫	<ul style="list-style-type: none"> 資料掲載が豊富で、生徒が興味・関心をもったことを調べたり他教科との関連を図ったりして、学習を進めることができる工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な音楽活動につながるコーナーがある。 	
観点3 内容の構 成・配列・分 量	<ul style="list-style-type: none"> リコーダー、ギター、箏、三味線、篠笛、太鼓、尺八の7種類を扱っている。 基礎学習用の曲は、練習曲→独奏曲→二重奏曲（合奏曲）の順に配列されている。 	<ul style="list-style-type: none"> リコーダー、ギター、箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八、打楽器の8種類を扱っている。 基礎学習用の曲は、練習曲・独奏曲→二重奏曲（三重奏曲）の順に配列されている。 	
観点4 内容の表 現・表記	<ul style="list-style-type: none"> 楽器のかまえ方や姿勢、タンギングや弦の弾き方、ばちの持ち方等について、違う角度から見た複数の写真、着色した弦を用いた楽器の写真や図、言葉等で説明されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽器の構え方や姿勢、タンギングや弦の弾き方、ばちの持ち方等について、違う角度から見た複数の写真や違う色を付けた線や図、言葉等を効果的に使って、分かりやすく説明されている。 	
観点5 言語活動の 充実	<ul style="list-style-type: none"> 「演奏のポイント」があり（5箇所程度）、演奏する楽曲にふさわしい演奏をするためのヒントが示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「アンサンブル」では、掲載曲全てに、各楽曲にふさわしい演奏をするためのヒントが示されている。 	

種目名〔美術〕 総合的な所見一覧

	問題意識	光村	日文
観点1 基礎・基本 の定着	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に基礎的な技法や知識等に関する資料が13ページにわたり掲載されている。 自然を愛し、美しいものに感動する心や思いやりの心等について関連する題材が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に基礎的な技法や知識等に関する資料が48ページにわたり説明されており、作品の理解を深めるための工夫が充実している。 自然を愛し、美しいものに感動する心や思いやりの心、伝統文化を引き継ぐ心等について関連する題材が示されている。また、道徳の学習と関連する内容がマークとともに示されており、豊かな情操を養うための工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に基礎的な技法や知識等に関する資料が23ページにわたり掲載されている。 思いやりの心、伝統文化を引き継ぐ心等について関連する題材が示されている。また、道徳の学習と関連する内容がマークとともに示されており、豊かな情操を養うための工夫がある。
観点2 主体的に学 習に取り組 む工夫	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が活動している姿が示されている。 作品をどういう気持ちや方法で制作したか、作家や生徒自身の言葉が掲載されており、生徒の発想や構想を促すための工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が活動している姿とともに、生徒が発想や構想を練る際のヒントが示されている。 作品をどういう気持ちや方法で制作したか等の作家や生徒自身の言葉や制作過程においてイメージしたこと、工夫したことについて示されており、生徒の発想や構想を促すための工夫が充実している。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が活動している姿が示されている。 作品をどういう気持ちや方法で制作したが、作家や生徒自身の言葉が掲載されており、生徒の発想や構想を促すための工夫がある。
観点3 内容の構 成・配列・ 分量	<ul style="list-style-type: none"> サイズを明記した作品が生徒、作家だけでなく職人のものも多量に掲載されており、生徒が多面的な視点でイメージを膨らませやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> サイズを明記した作品は、主に生徒、作家のものが掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> サイズを明記した作品は、生徒、作家のものが掲載されている。
観点4 内容の表 現・表記	<ul style="list-style-type: none"> 見開き、折り返みページには、日本や諸外国の作家等の作品が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 見開き、折り返みページには、日本や諸外国の作家等の作品が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 見開き、折り返みページには、日本や諸外国の作家等の作品が掲載されている。
観点5 言語活動の 充実	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞を深めるための話し合いを促す言葉が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞を深めるための話し合いを促すために、視点を明確に示す具体的な言葉が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞を深めるための話し合いを促す言葉が掲載されている。

観点	東洋	大日本	大塚道	字研
<p>観点1 基礎・基本 の定着</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目標が明確に示されており、生徒が目標を意識して取り組みやすい。 ・巻末で「キーワードの解説」として全ての基本用語が解説されており、理解しやすくなっている。 ・「学習を振り返ろう」では、理解度についての自己評価をするようになっており、学習内容について再確認することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「学習のまとめ」で「重要な言葉」として基本用語が解説されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本用語について各小単元の最初に「キーワード」として示されている。本文で強調標記されている重要語句は、キーワードと一部一致していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標が明確に示されており、生徒が目標を意識して取り組みやすい。 ・巻末には、「巻のまとめ」で「用語の確認」として、問題形式で基本用語が確認できるようにになっている。
<p>観点2 主体的に学習に取り組み工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間、学習の流れの中に課題が提示されており、考えたり、話し合ったりすることができるように工夫されている。 ・写真や説明文など資料が豊富であり、生徒の興味関心を高め、実生活に生かすことができるよう工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題学習として、「学習を活かして」のコーナーでは、学習したことを整理し、課題に取り組み設定になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題学習として「Challenge (チャレンジ)」のコーナーでは、学びを深めることができるように課題に取り組み設定になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を具体的に示す挿絵や図表、例示が掲載されており、調べたり、考えたりする活動に取り組みやすい。
<p>観点3 内容の構成・配列・分量</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「実習資料」として示されており、実習に関連した写真、挿絵、図が掲載され、実習の手順や方法が説明されている。また、心肺蘇生の写真が大きく掲載されており、具体例が多く示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「実習」マークで示されており、実習に関連した写真、挿絵が掲載され、手順や方法が説明されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「実習」マークで示されており、実習に関連した写真、挿絵が掲載され、手順や方法が説明されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「実習」マークで示されており、実習に関連した写真、挿絵が掲載され、手順や方法が説明されている。
<p>観点4 内容の表現・表記</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容と関連した挿絵、写真や図表等が資料として掲載されており、生徒が技術・戦術・作戦をイメージしやすい工夫が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に関連した挿絵、写真、図表等が「資料」として掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に関連した挿絵、写真、図表等が「図」として掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に関連した挿絵、写真、図表等が「資料」として掲載されており、スポーツ全般に共通した学び方について、わかりやすく説明されている。
<p>観点5 言語活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「保健体育の学習方法」を設け、言語活動に係る学習方法が掲載されている。 ・「やってみよう」「考えてみよう」のコーナーに自分の考えをまとめて表現する活動例が記載されており、毎時間、内容と関連した課題提示により、生徒の意見を引き出す工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習を活かして」では理解を定着させることができるように知識や経験に照らして考えたり、自分の考えをまとめてめたりする活動が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「保健体育の学び方」を設け、学習方法が掲載されている。 ・「Try」には自分の考えをまとめて表現する活動例が、「Challenge」には、実際に書くことで学びを深めることのできる課題が取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「この教科書の使い方」を設け、学習方法が掲載されている。 ・「ウォームアップ」「エクササイズ」などのコーナーに活動の内容が記載されている。また、「言語」マークや「協働」マークが表示されており、活動を含む課題や教え合い学び合う課題など具体的な学習方法の根拠が示されている。

種目名〔技術・家庭（技術分野）〕 総合的な所見一覧

	実習	教習	閉教室
観点1 基礎・基本 の定着	<ul style="list-style-type: none"> 各編の終わりの見開きの2ページを「学習のまとめ」として、練習問題や大切な用語の確認などの振り返りができるようにしている。 環境とのかかわりについて、学習内容に関連がある事柄には「環境」マークなどが使われている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各内容の終わりの見開き2ページを「まとめ」と「章末問題」として、振り返りができるようにしている。 環境とのかかわりについてのマークはない。 	<ul style="list-style-type: none"> 各内容の終わりの見開き2ページを「学習のまとめ」として、振り返りと自己評価ができるようになっている。 環境とのかかわりについて、学習内容に関連がある事柄には「環境」マークが使われている。
観点2 主体的に学 習に取り組 む工夫	<ul style="list-style-type: none"> 学習のまとめごとに、「考えてみよう」「話し合ってみよう」のマークで学習内容に関する事柄について考えようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習のまとめごとに「話し合ってみよう」のマークを付けて示されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習のまとめごとに、「考えてみよう」「話し合ってみよう」のマークを使って学習内容に関する問いかけが掲載されており、主体的な学習につなげるための工夫がある。
観点3 内容の構 成・配列・ 分量	<ul style="list-style-type: none"> 各内容は3章または4章で構成され、最終章は技術の評価・活用の章として、社会や環境とのかかわりについてまとめるという統一された構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各内容は4～6項で構成され、内容によって構成は異なる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各内容は6～8項で構成され、各内容とも最初の項で生活との関連について示され、最終項は技術の評価・活用の項として、社会や環境とのかかわりについてまとめるという統一された構成になっている。
観点4 内容の表 現・表記	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容の理解を助けたり、深めたりすることができるよう写真、イラスト、図や資料が掲載されている。体の動きの流れが連続写真で示されているものもある。 主な発電方式やエネルギーの利用の仕方について、表とイラストでまとめられ、比較しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容の理解を助けたり、深めたりすることができるよう写真、イラスト、図や資料が掲載されている。製品を分解した写真や構造が分かるようなイラストが使われている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容の理解を助けたり、深めたりすることができるよう写真、イラスト、図や資料が掲載されている。工具や道具の使用方法について、押し引きしたり、回したりする方向へ矢印が記載されており視覚的に理解しやすい。 主な発電方式やエネルギーの利用の仕方について、表とイラストでまとめられ、比較しやすい。
観点5 言語活動の 充実	<ul style="list-style-type: none"> 各内容の終わりに、技術のプラス面とマイナス面を考慮して記入できるようなワークシート例が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 技術の評価・活用について考えさせるワークシート例は掲載されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 材料と加工に関する技術の内容の中で、「技術の具体的な評価・活用方法を考えてみよう」という内容で、技術の評価・活用についての考え方が示され、技術のプラス面とマイナス面を考慮して記入できるようなワークシート例が掲載されている。 学習後の評価・活用については、学んだことを振り返り、幅広く評価と活用について考えることができるようになっている。

種目名【技術・家庭（家庭分野）】 総合的な所見一覧

	真書	教図	開隆堂
観点1 基礎・基本 の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統に関する内容には、「伝統文化」のマークを付けて示されている。また、「ひとくちQ&A」が10か所あり、伝統文化に興味をもちながら学習が進められるようになっている。 ・ 循環型社会に関して、3Rとリフューズが示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統と文化に関するマークはない。 ・ 循環型社会に関して、3Rに加え、リデュースとリユースの2Rを優先的に行うことの大切さが示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統と文化に関する内容には、「伝統文化」マークを付けて示されている。 ・ 循環型社会に関して、3Rに加え、4Rや5Rへの広がりについて記述され、環境に配慮した生活スタイルがイメージしやすい。
観点2 主体的に学 習に取り組 む工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4つの内容ごとの導入のページがあり、学習の流れが分かりやすい。 ・ 巻頭ガイダンスに「問題を解決する筋道」として、6つのステップが示され、全ての題材において、問題解決的な学習を行うための工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「自立度チェック」として、各学習内容に関わる質問が示されているが、内容ごとの導入のページはない。 ・ 問題解決的な学習の流れについて、6つのステップで示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4つの内容ごとの導入のページがあり、学習の流れが分かりやすい。 ・ 巻頭ガイダンスだけでなく巻末「言語活動の充実のために」に、問題解決的な学習の流れが分かりやすく図で示され、全ての題材において問題解決的な学習を行うための工夫がある。
観点3 内容の構 成・配列・ 分量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発展的な学習の内容の事例が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発展的な学習の内容は、生徒の実態や興味・関心に応じた学習となるよう、多くの事例が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発展的な学習の内容は、生徒の実態や興味・関心に応じた学習となるよう、多くの事例が示されている。
観点4 内容の表 現・表記	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主な調理や製作の実習の手順が統一され、見開きページを使用し、左から右への流れで手順が分かりやすく示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主な調理や製作の実習の手順が、1ページを縦に分割し、上から下への流れで見られるように示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主な調理や製作の実習の手順が統一され、1ページ又は見開きページを使用し、左から右に時間の流れに沿って、分かりやすく示されている。
観点5 言語活動の 充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「実習例」や「調べてみよう」等のコーナーで、7つの生徒作品の事例が示されており、生徒が学習内容に応じた手法を取り入れるための参考にしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言語活動の事例は示されているが、生徒作品の事例は少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「言語活動の充実のために」として、4ページにわたり活動例が示されているが、学習のまとめとしての生徒作品の事例の掲載箇所は少ない。

種目名 (英語) 総合的な所見一覧

	基礎	開塾	学園	三省堂	教出	光村	
観点1 基礎・基本 の定着	<ul style="list-style-type: none"> 入門時に外国語活動と同様の活動が設定され、書くことについてアルファベットを書く活動が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> どのパートも活動の多くが会話形式になっており、コミュニケーション活動を設定しやすい。 入門時に外国語活動と同様の活動が設定され、書くことについてアルファベットをなぞって書く活動が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 入門時に外国語活動と同様の活動が設定され、書くことへもスムーズに移行できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年生の単元7以降、タイトルページの写真や絵を基にした英問英答があり、コミュニケーション活動を設定しやすい。 入門時に外国語活動と同様の活動を並べ替えて単語を作るなど、書くことへもスムーズに移行できる工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 入門時に外国語活動と同様の活動が設定され、書くことについてアルファベットを聞いて、大文字と小文字を書く活動がある。 	<ul style="list-style-type: none"> どの単元にもタイトルページに写真があり、それをテーマにコミュニケーション活動を設定しやすい。 入門時に外国語活動と同様の活動が設定されているが、書く活動については扱われていない。 	
観点2 主体的に学習に取り組む工夫	<ul style="list-style-type: none"> 各単元のパートごとに、自分のことについて話したり、ペアで話し合ったりする活動が設定されている。 目次に3年間の見通しが示されているが、自己の振り返りができる箇所が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元のパートごとに、自分のことについて話したり、ペアで話し合ったりする活動、さらに、「話す」「書く」「活動」においてモダリティを練習した後に自己表現する活動が設定されている。また、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するための工夫がある。 自己評価及び振り返りをするための工夫がある。 自己評価及び振り返りをするための工夫がある。 自己評価及び振り返りをするための工夫がある。 自己評価及び振り返りをするための工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元のパートごとに、自分のことについて話したり、ペアで話し合ったりする活動、さらに、「話す」「書く」「活動」においてモダリティを練習した後に自己表現する活動が設定されている。また、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するための工夫がある。 自己評価及び振り返りをするための工夫がある。 自己評価及び振り返りをするための工夫がある。 自己評価及び振り返りをするための工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元のパートごとに、自分のことについて話したり、ペアで話し合ったりする活動が設定されている。 自己評価及び振り返りをするための工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元のパートごとに、自分のことについて話したり、ペアで話し合ったりする活動が設定されている。 自己評価及び振り返りをするための工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元のパートごとに、自分のことについて話したり、ペアで話し合ったりする活動が設定されている。 自己評価及び振り返りをするための工夫がある。 	
観点3 内容の構成・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> 外国語活動で学習した多くの語彙が、1年生の巻頭資料で扱われている。 単元や題材などの分量は適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語活動で学習した多くの語彙が、1年生の巻頭資料で扱われている。 単元や題材などの分量は適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語活動で学習した多くの語彙が、1年生の巻頭資料で扱われている。 単元や題材などの分量は適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語活動で学習した多くの語彙が、1年生の巻頭資料で扱われている。 単元や題材などの分量は適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語活動で学習した多くの語彙が、1年生の巻頭資料で扱われている。 単元や題材などの分量は適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語活動で学習した多くの語彙が、1年生の巻頭資料で扱われている。 単元や題材などの分量は適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語活動で学習した多くの語彙が、1年生の巻頭資料で扱われている。 単元や題材などの分量は適切である。
観点4 内容の表現・表記	<ul style="list-style-type: none"> 各学年に発音に関するコーナーがある。 巻末の単語リストには発音記号が併記されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年に発音に関するコーナーがある。 巻末の単語リストには発音記号が併記されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年に発音に関するコーナーがある。 巻末の単語リストには発音記号が併記されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年に発音に関するコーナーがある。 巻末の単語リストには発音記号が併記されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年に発音に関するコーナーがある。 巻末の単語リストには発音記号が併記されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年に発音に関するコーナーがある。 巻末の単語リストには発音記号が併記されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年に発音に関するコーナーがある。 巻末の単語リストには発音記号が併記されている。
観点5 言語活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ペアワーク等の扱い及び数は適切である。 4領域の言語活動は適切に配置されている。また、複数の単元のまとまりごとに、既習事項を活用する自己表現活動が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアワーク等の扱い及び数は適切である。 4領域の言語活動は適切に配置されている。また、複数の単元のまとまりごとに、既習事項を活用する自己表現活動が設定されている。また、1年生の7課以降、まとまりのある英文を詠んだり書いたりする活動が増えるなどの工夫が充実している。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な活動形態及び活動内容が掲載されており、生徒の実態に応じて効果的な授業展開を工夫しやすい。 4領域の言語活動は適切に配置されている。また、複数の単元のまとまりごとに既習事項を活用する自己表現活動が設定されている。また、1年生の7課以降、まとまりのある英文を詠んだり書いたりする活動が増えるなどの工夫が充実している。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な活動形態及び活動内容が掲載されており、生徒の実態に応じて効果的な授業展開を工夫しやすい。 4領域の言語活動は適切に配置されている。また、複数の単元のまとまりごとに既習事項を活用する自己表現活動が設定されている。また、1年生の7課以降、まとまりのある英文を詠んだり書いたりする活動が増えるなどの工夫が充実している。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアワーク等の扱い及び数は適切である。 4領域の言語活動は適切に配置されている。また、複数の単元のまとまりごとに、既習事項を活用する自己表現活動が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアワーク等の扱い及び数は適切である。 4領域の言語活動は適切に配置されている。また、複数の単元のまとまりごとに、既習事項を活用する自己表現活動が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアワーク等の扱い及び数は適切である。 4領域の言語活動は適切に配置されている。また、複数の単元のまとまりごとに、既習事項を活用する自己表現活動が設定されている。